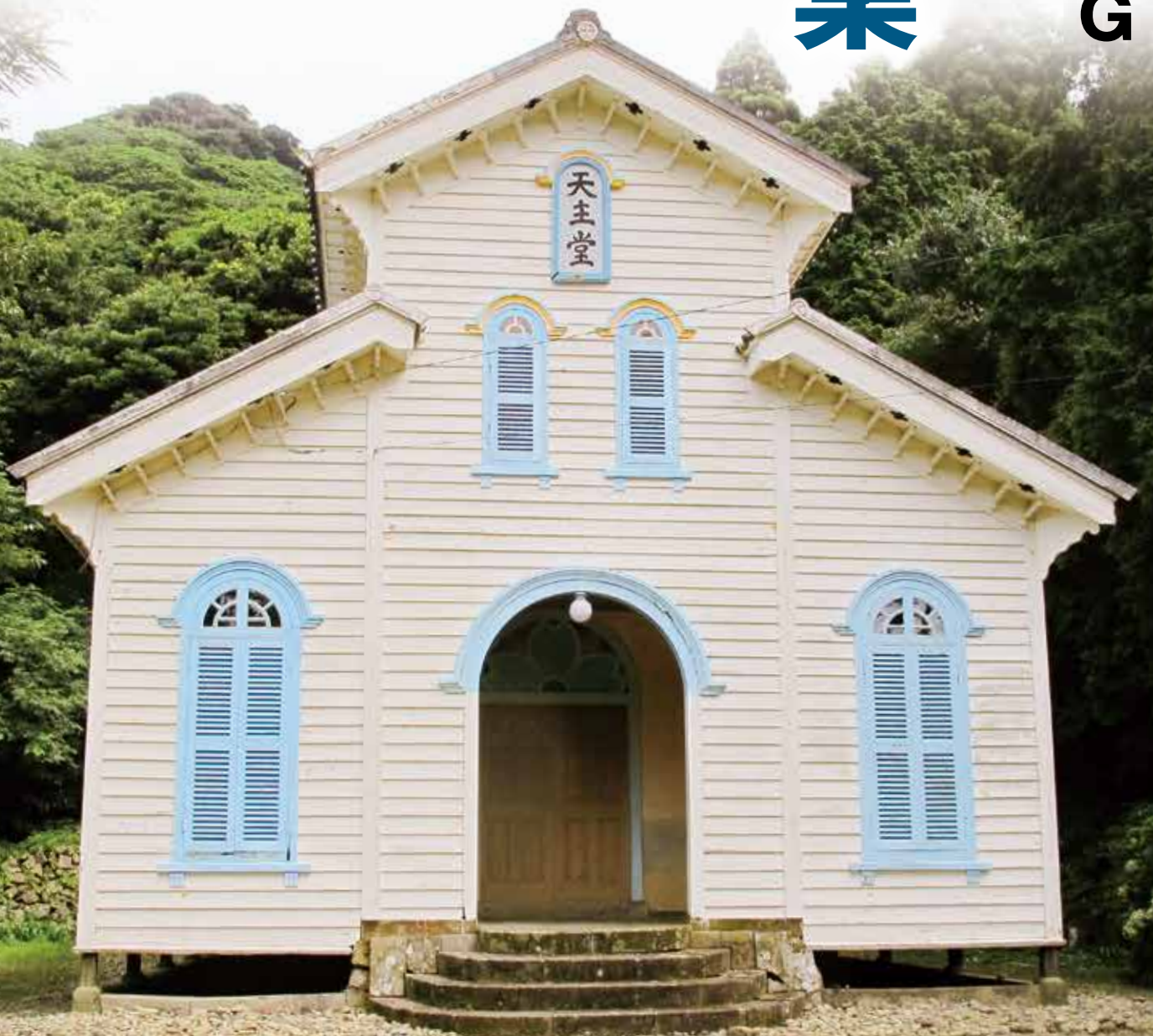


地域と共生するFFG

五島の豊かな自然が生み出す
特産品のある島

奈留島特集

奈留島にある江上天主堂を含む集落一帯が「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」の構成資産「奈留島の江上集落」として世界遺産に登録されています。



江上天主堂

観光地として 魅力あふれる奈留島

長崎県の五島列島のほぼ真ん中に位置する奈留島は世界遺産の構成資産の一部となっている他にも、有名な観光スポットや全国有数の好漁場として多くの魅力がある島です。

ユーミンの名曲が 生まれた島

奈留島での有名な観光スポットのひとつとして「ユーミンの歌碑」があります。県立五島高校奈留分校（現・県立奈留高等学校）のひとりの女子生徒が荒井（現・松任谷）由実さんが出演しているラジオ番組に「学校に校歌がないので作ってほしい」と手紙を送ったことで生まれた名曲「瞳を閉じて」の直筆の歌碑が奈留高校に設置されています。遠くへ行った友達を思いやる島の人の心を歌ったこの曲は、その後、正式な校歌にはなりませんでしたが、卒業式には必ず歌われる愛唱歌として受け継がれています。



ユーミンの歌碑

島の新しい名物を作る プロジェクト

奈留島の近海は世界最大級の海流である黒潮と九州南西部で分岐する対馬海流（暖流）にはさまれ、潮の流れが速いため身が締まった魚が育ちます。奈留町漁業協同組合は、そんな豊富な海の恵みがもたらされている環境で育った魚を奈留島の特産品として気軽に持ち帰ってもらうために、五島市の地域活性化に協力していた高知のイタリアンシェフ森澤錠二さんと「漁師のイタリアン」という水産加工品のブランドを開発しました。そのまま食べても美味しく、パスタに和えたり、バケットに乗せたり、サラダにしたりと、食

卓を豪華にするアレンジが可能です。

漁協の関係者の似顔絵が描かれたパッケージのデザインは同じ長崎の離島・対馬で島デザイナーをされている吉野由起子さんが作成しています。



漁師のイタリアンは
Webでも購入できます

※数量限定のため、品切れとなる
場合がございます。

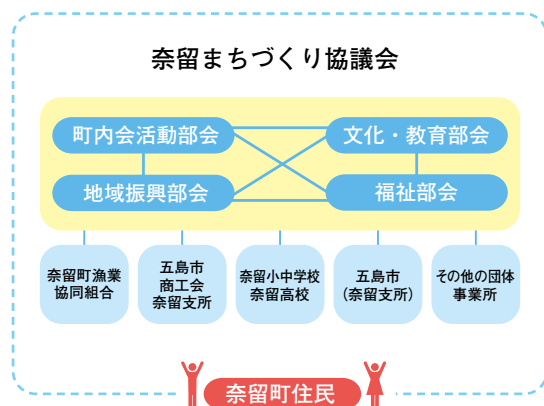


「五島列島 おさかな市場」

奈留島の地域の 取り組みについて

奈留島では、行政と地元民間組織が協力して「奈留まちづくり協議会」を設立し、奈留島の地域活性化に向けて取り組んでいます。

取り組みの内容は、島外から学生を受け入れ、豊かな自然と歴史の中で教育を提供する「しま・離島留学」の拡大推進や奈留島の情報ウェブサイト「Link」の構築運営など、奈留島の未来のことを考えてどのように発展させていくかを見据えながら、企画を進めています。



特産品と事業者紹介



肉厚なアジの一夜干し「まんまるあじ」

しろやま すいさん
城山水産

奈留島近海の恵まれた環境で養殖される城山水産のアジは、餌にこだわり2年以上の期間を経て育てられるため、まるまると太っており初めて見たときはその身の厚さに驚かされるぐらい大きなアジです。その品質は、海外からも高い評価を受けています。

城山水産では、アジを生簀からあげたらずくに締め、新鮮なうちに捌き塩をし、手作業で丁寧にな一夜干しにした「まんまるあじ」を販売しています。

奈留島の人口が減少していく中で、島内での販売だけに限定せず、島外への販路拡大を目指してまんまるあじの魅力を発信したところ、身の厚さや新鮮な状態で加工する高い品質などが一般に出回るあじとは違うと評価されました。まんまるあじは東京の飲食店から需要があるほどの人気商品となり、奈留島を代表する特産品のひとつとなっています。



まんまるあじは五島列島
マルシェホームページで
購入できます

※毎月数量限定の販売となっております。



城山水産の

地域活性化のための取り組み

城山水産の城山健一郎氏は「奈留ま

ちづくり協議会」の理事を務め、奈留島の地域発展に貢献する活動を続けています。その他にも、離島留学生の寮とコミュニティスペースを兼ね備えた「しまなび舎」を拠点として活動する一般社団法人「奈留しまなび舎」の理事も務めています。島にある唯一の県立高校「奈留高等学校」を存続させるため、離島留学生の寮生活のサポートや学習支援、子どもから大人までの多世代がコミュニケーションを取れる場の提供など、奈留島の未来を創る子どもたちが安全で健やかに成長できる環境を作っています。



城山健一郎氏

奈留島を盛り上げる!

土産品と木材加工体験を提供

さん きょう だい こう ぼう
三兄弟工房

奈留島の土産の代表として知られるのが「三兄弟工房」の木材加工品です。三兄弟工房は本業が大工の葛島三兄弟が来島者に思い出に残るお土産を持つて帰ってほしいと設置した観光体験場です。2017年から三兄弟長男・葛島義信氏の長男・勝幸氏も奈留島にUターンし、三兄弟+1として経営しています。

代表商品の「でばヒラキ」やレーザーで焼き付けて作る木材加工品はすべて木目やデザインが異なり、お気に入りの作品を選ぶのも楽しみのひとつです。また、木工体験も楽しむことができ、でばヒラキやストラップ、バターナイフなどオリジナル作品を作ることができます。※体験ご利用の際は事前に連絡が必要です。

お問い合わせ

TEL 0959-64-4066



三兄弟の家族が始めた宿「民宿 かどもち」
宿泊しても木工体験が楽しめます



代表商品「でばヒラキ」

三兄弟工房の

地域活性化のための取り組み

三兄弟工房の「+1」として働いている勝幸氏は、奈留島の人と周辺地域の人との交流を図り、人が集まる場所を作ろうと「HATA-AGE」を結成して活動しています。

HATA-AGEは奈留島の若い世代が中心となって活動しており、奈留島を盛り上げるために「奈留島サントラ」などのイベントを主催しています。

奈留島サントランの参加費の一部は『江上天主堂』の維持・管理費として管理している奈留教会へと寄付しており、島のことを守る活動を続けています。



奈留島サントラン
公式ホームページ
※企画が決まり次第
更新されます。

三兄弟工房長男の長男：葛島勝幸氏

奈留島×西海クリエイティブカンパニー×十八親和銀行

奈留島の魅力と 将来について語る!



新たな名物の開発で 奈留島に更なる魅力を

五島列島は黒潮と対馬海流には
さまれているため、豊富な水産資
源に恵まれた全国でも有数の好漁
場です。なかでも奈留島は、まき網
漁業、一本釣り漁業、養殖漁業、定
置網漁業を主とした水産業を基
幹産業とする五島の中核的漁業基
地であり、五島市内の漁協で唯一、
水産加工事業を展開しています。
豊かな自然を活かした観光に

奈留町漁業協同組合
組合長
おおくぼ きんせい
大久保 金政氏
【所在地】
長崎県五島市奈留町浦
1839番地7
<https://www.jfnaru.com/>



も力を入れている当地ですが、2
018年、江上天主堂が「長崎と
天草地方の潜伏キリシタン関連
遺産」の構成資産として世界文化
遺産に登録されて以来、観光地と
してより注目されるようになりま
した。そこで、この機を捉えて島の
活性化につなげようと、新しい名
物をつくるプロジェクトに着手。高
知でイタリアンを手がけるシェフ
とともにメニュー開発をおこない、
島に水揚げされる鮮魚を用いた
加工品が、2020年に誕生しま
した。「マダイのアクアパッツァ」
「タコバジル」など7種類の料理を
真空パックした加工品は「漁師の
イタリアン」と命名。奈留島の新
たな一面を伝えるおみやげとして
好評をいただいています。

離島は高齢化と人口減少が課
題といわれるなか、魅力発信のか
いあつてか、奈留島ではイターンに
よる就業者もいます。商品のオン
ライン販売などによって経営の近
代化を図りつつ、水産加工品のさ
らなる開拓を始めとする多角的
な漁業振興および島の活性化に
引き続き取り組んでいきます。

当社「西海クリエイティブカンパニー」は、西海市の活性化を図るために、2017年に西海市、親和銀行（現：十八親和銀行）、民間の共同出資で設立された地域商社です。西海市に対する活動のノウハウを奈留島にも応用できないかと、十八親和銀行からお話をいただき、奈留島活性化のお手伝いを始めました。

多くの「資源」を活用して奈留島活性化を目指していく

株式会社 西海クリエイティブカンパニー
専務取締役
なみかた ゆうき
浪方 勇希氏
【所在地】
長崎県西海市西彼町
喰場郷1686番地3
<http://saikaicreative.co.jp/>




奈留島は漁業を始め、水産加工品の製造、木工芸品、真珠養殖、島留学施設など、特色といえる要素がいくつもあります。また、島の魅力を外に伝えたいと願う島民の「思い」の強さも、大きな「資源」だと感じています。さらに、「離島」を観光資源として考える時に、都市部からの距離がネックになると思われがちですが、「山奥の美味しい蕎麦屋」と同じで、移動の目的さえ明確であれば、道中の長さも楽しい体験になります。住民と同じ当事者視線と、外からの客観的視点を巧く組み合わせながら活性化プランを練り、関係機関と強みを活かした役割分担で進めていきます。

手始めに、西海市で得た知見をもとに、ローカルウェブメディアを活用した情報発信に際して、「市民ライター」の養成を目指します。地域の人々が、その地域の魅力と可能性を等身大で捉え、域外に誇りを持つて発信し続ける文化を根付かせること。これは、まちづくりという長期的な取り組みにおいて大変重要なポイントであると思っています。

FFGのネットワークを活かし地域商社の設立を

十八親和銀行
執行役員
ソリューション営業部長
しもだ よしたか
下田 義孝



奈留島との関わりは、お取引先から奈留島の城山水産様をご紹介いただいたのがきっかけです。以前から「離島の活性化は、長崎で活動する地方銀行の責務であり使命である」と考えておりましたので、私でもお手伝いできることを探るため、島へ伺いました。

訪問時に食べた城山水産様の製造するアジの一夜干しは、その肉

厚な身の食べごたえとおいしさに驚きました。また、奈留高校では「離島留学」に力が注がれていて、受け入れのための学生寮、大学進学に向けた教育の場が、しっかりと整えられているのを知りました。

島の方々が銀行に寄せられる期待の高さもあって、こうした島の多面的魅力を広く伝えるための活動をスタートさせました。まずは、水産加工物のブランディングから。島の水産業の中心である奈留町漁協をベースとした地域商社の設立に向けて取り組みを進めているところです。

ビジネスモデル構築に関しては、西海市の活性化で実績のある地域商社の西海クリエイティブカンパニー様と連携しています。設立を目指している商社では、将来的に複数の島民にも一員となってもらい、継続的な展開を図っていくつもりです。目指すは、収益と情報の域内循環が可能な「奈留島モデル」の構築。そのために地域金融機関として、地域の事業者・商工会・行政・大学などを繋げながら、協議を重ねています。